

令和元年度岩手県情報教育担当教員研究会 講演詳細

- 1 主 催 岩手県立大学 ソフトウェア情報学部
- 2 後 援 岩手県教育委員会
- 3 日 時 令和元年 12 月 6 日（金）14 時から 16 時 30 分まで（13 時 30 分より受付）
- 4 会 場 岩手県立大学滝沢キャンパス ソフトウェア情報学部 A 棟 204 講義室（岩手県滝沢市巣子 152-52）
※会場には駐車場がございますので、お車でお越しいただけます

講演 1（14:10～15:10）：「新学習指導要領における教科『情報』と情報科と数学科の連携」（仮）

鹿野 利春 様

（国立教育政策研究所 教育課程調査官、文部科学省 初等中等教育局 情報教育・外国語教育課 情報教育振興室 教科調査官）

新学習指導要領は昨年 3 月に公示され、今年 5 月には教員研修用教材も公開されました。新学習指導要領における教科「情報」は、現行の「社会と情報」「情報の科学」から「情報Ⅰ」「情報Ⅱ」となり、「情報Ⅰ」が必修となりませんが、Ⅰ・Ⅱの両科目ともプログラミングや情報科学などの内容が盛り込まれ、より一層高度な内容となったことが大きな特徴です。また、統計教育に関しては数学科と情報科が協力して充実させることが期待されているなど、教科「情報」に関する状況は大きな変化が見込まれています。

このような背景から、新学習指導要領における教科「情報」の策定に関わられた文部科学省 生涯教育政策局 情報教育課情報教育振興室 教科調査官 鹿野様をお招きし、新学習指導要領における教科「情報」と、情報科と数学科の連携についてご講演をいただきます。

講演 2（15:20～16:20）：「Scratch を用いた ICT 活用型数学授業の実践例について」（仮）

上出 吉則 様

（大阪教育大学 教育学部 教員養成課程 数学教育講座 特任教授）

上出研究室では、算数や数学の授業に ICT を活用する研究をおこなっています。具体的には、Scratch という言語で作成された創作プログラミング教材を授業で活用して学力向上につながる研究です。創作プログラミング教材には、アニメーション、ストーリー、アッと驚く仕掛けなどがあります。授業には、驚きがあり、発見があり、感動があり、笑いの起こる展開になります。楽しいだけでなく、算数や数学をより深く理解できる授業が展開されます。しかし、肝心の創作プログラミング教材の完成には数カ月を必要とします。苦勞して創作したプログラミング教材が授業で活躍する姿を見ると感動で目頭が熱くなります。本日はその教材の一部を紹介します。

以上

（問い合わせ先）

担 当 岩手県立大学ソフトウェア情報学部
児玉 英一郎

メール kodama@iwate-pu.ac.jp

T E L 019-694-2628

F A X 019-694-2501